

**B2**  $AB = 5$ ,  $BC = 6$ ,  $CA = 4$  の  $\triangle ABC$  がある。

- (1)  $\cos A$  の値を求めよ。
  - (2)  $\triangle ABC$  の面積  $S$  を求めよ。また,  $\sin B$  の値を求めよ。
  - (3) 直線  $BC$  上に  $\angle BAD = 90^\circ$  となるような点  $D$  をとる。  $\triangle ACD$  の外接円の半径を求めよ。
- (配点 20)

**B3** 4 次方程式  $x^4 - kx^2 + 4 = 0$  ……① がある。ただし,  $k$  は実数の定数である。

- (1)  $k = 5$  のとき, 方程式①を解け。
  - (2) 方程式①が異なる 4 つの実数解をもつような  $k$  の値の範囲を求めよ。
  - (3) 方程式①が異なる 4 つの実数解をもち, その 4 つの解の値を数直線上にとった 4 点が等間隔に並ぶ。このとき,  $k$  の値と 4 つの実数解を求めよ。
- (配点 20)

**B4** 座標平面上に、円  $C_1: x^2 + y^2 = 2$ 、円  $C_2: x^2 + y^2 - 6ax - 2ay + 10a^2 - 18 = 0$  がある。  
ただし、 $a$  は正の定数である。

- (1)  $a = 1$  のとき、円  $C_2$  の中心の座標と半径を求めよ。
- (2) 円  $C_1$  上の点  $(-1, 1)$  における接線  $\ell$  の方程式を求めよ。また、接線  $\ell$  と円  $C_2$  が接するとき、 $a$  の値を求めよ。
- (3) (2)のとき、円  $C_1$  と  $C_2$  の共通接線のうち、円  $C_1$  上の接点  $(p, q)$  が第3象限にあるものを  $m$  とする。このとき、 $p, q$  の値と  $m$  の方程式を求めよ。 (配点 20)

**B5** 関数  $y = \sin \theta + \sqrt{3} \cos \theta$  ……① がある。

- (1)  $\theta = \frac{\pi}{3}$  のとき、 $y$  の値を求めよ。
- (2) 関数①を  $y = r \sin(\theta + \alpha)$  ( $r > 0$ ,  $-\pi < \alpha \leq \pi$ ) の形に変形するとき、 $r$  と  $\alpha$  の値を求めよ。また、 $0 \leq \theta \leq \pi$  のとき、 $y$  のとり得る値の範囲を求めよ。
- (3) 関数①のグラフを  $\theta$  軸方向に  $\frac{\pi}{6}$  だけ平行移動したグラフを表す関数を  $y = p \sin \theta + q \cos \theta$  とするとき、定数  $p, q$  の値を求めよ。さらに、このとき、 $0 \leq \theta < 2\pi$  において、 $(p+1)\sin \theta + (q+\sqrt{3})\cos \theta = \frac{\sqrt{2}}{\sqrt{3}-1}$  を満たす  $\theta$  の値を求めよ。 (配点 20)

**B6** 関数  $f(x) = x^3 - 3x^2 + 2$  があり，座標平面上で曲線  $C: y = f(x)$  を考える。

- (1)  $f'(x)$  を求めよ。また，点  $(-1, f(-1))$  における  $C$  の接線の方程式を求めよ。
- (2)  $t$  は実数とする。点  $(t, f(t))$  における  $C$  の接線  $\ell$  の方程式を求めよ。また，接線  $\ell$  が点  $(0, 2)$  を通るとき， $t$  の値を求めよ。
- (3) 点  $(2, a)$  を通る  $C$  の接線がちょうど 2 本存在するような定数  $a$  の値を求めよ。

(配点 20)

**B7** 数列  $\{a_n\}$  は等差数列で， $a_1 + a_2 + a_3 = 243$ ， $a_2 + a_3 = 160$  である。また，数列  $\{b_n\}$  は公比が正の等比数列で， $b_2 = 16$ ， $b_3 + b_4 = 320$  である。

- (1) 数列  $\{a_n\}$  の一般項  $a_n$  を  $n$  を用いて表せ。
- (2) 数列  $\{b_n\}$  の一般項  $b_n$  を  $n$  を用いて表せ。
- (3) 数列  $\{a_n\}$  の初項から第  $n$  項までの和が最大となるときの  $n$  を  $N$  とするとき， $N$  の値を求めよ。さらに， $b_n$  の一の位の数  $c_n$  ( $n = 1, 2, 3, \dots$ ) とするとき， $\sum_{k=1}^N a_k c_k$  の値を求めよ。

(配点 20)



**B8**  $OA = 3$ ,  $OB = 4$ ,  $\angle AOB = 60^\circ$  の  $\triangle OAB$  があり, 辺  $AB$  を  $1:2$  に内分する点を  $C$ , 線分  $OC$  の中点を  $M$  とする。また,  $\overrightarrow{AP} = k\overrightarrow{AM}$  ( $k$  は実数) となる点  $P$  をとり,  $\overrightarrow{OA} = \vec{a}$ ,  $\overrightarrow{OB} = \vec{b}$  とする。

- (1)  $\overrightarrow{OC}$  を  $\vec{a}$ ,  $\vec{b}$  を用いて表せ。また, 内積  $\vec{a} \cdot \vec{b}$  の値を求めよ。
- (2)  $\overrightarrow{OP}$  を  $k$ ,  $\vec{a}$ ,  $\vec{b}$  を用いて表せ。また, 点  $P$  が直線  $OB$  上にあるとき,  $k$  の値を求めよ。
- (3)  $\angle AOP = 90^\circ$  となるとき,  $k$  の値を求めよ。また, このとき  $\triangle OAP$  の面積を求めよ。

(配点 20)